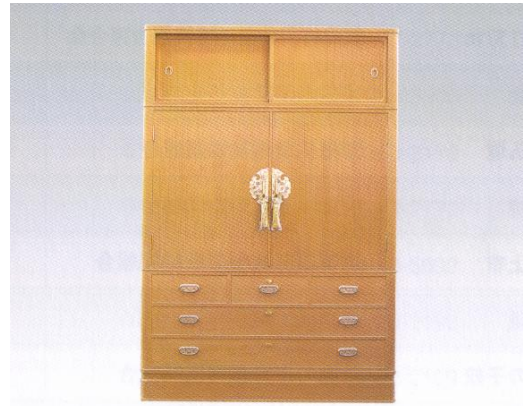


紀州箆笥

【産地組合】紀州桐箆笥協同組合

（産地紹介）

紀州箆笥は大阪で発生し、次いでその地回り産品として紀州がその一役を担ったことから、紀州の地に箆笥が製造されるようになりました。古文書から、既に天保年間には武家以外の階級社会でも、婚礼調度品として使用されていたことが分かっており、数々の史料から江戸時代末期には現在の和歌山市において箆笥の製造技術が確立し、生産が行われていたと考えられています。



桐の柔らかな質感・色調、木目の美しさは、和洋いずれの部屋にもマッチし、安らぎと優雅な雰囲気醸し出します。また、桐箆笥は伸縮や狂いが少なく、軽くて持ち運びが便利な上に、外気に敏感で湿気の多い時には水分を吸い、乾燥時には水分を出す恒湿性を持っているので、火災の際には、水を吸って燃えにくく、「身を焼いて、中身を救う」と言われる程高く評価されています。

和歌山県の桐箆笥は、細かなところまで職人の気配りが行き届いた堅牢で繊細なもので、大阪・京都・神戸・奈良など消費者の目が厳しい市場で高い評価を得ています。